

2025 年 7 月吉日

会員各位

公益社団法人神奈川県臨床工学技士会

会長 大石 竜

災害対策委員長 岡田 悟

令和 7 年度関東甲信越臨床工学技士協議会 災害時情報伝達訓練参加のお願い

拝啓、猛暑の候、平素は透析医療にご尽力頂いていることと存じます。

令和 7 年度関東甲信越臨床工学技士協議会 災害時情報伝達訓練を下記の日程で行います。パソコン・スマホ等の情報入力端末から訓練へ参加し、情報の登録をお願いしたく存じます。

今回、入力していただいた訓練結果は各都県の行政を含めて行う広域関東圏連絡会議の机上訓練で使用する予定となっており、これまでと同様に重要な訓練となっております。

本訓練は「DIEMAS」及び「日本透析医会災害時情報ネットワーク」へ登録をお願い致します。また「DIEMAS」に入力した情報は簡単な操作で「透析医会災害時情報ネットワーク」へ情報の転送が可能となっていますので、操作のご確認をお願い致します。全ての透析施設において自施設の情報発信（登録）ができることが望ましいと考えておりますので、是非、ご協力をいただきますようお願い致します。

敬具

記

日時:令和 7 年 9 月 1 日 7:00~2 日 17:00 (情報入力は 9 月 1 日 17:00 頃まで)

参加都県:東京都、埼玉県、千葉県、栃木県、茨城県、群馬県、新潟県、山梨県、長野県、神奈川県

被害想定:9 月 1 日未明に神奈川県三浦半島断層群地震により横須賀・三浦地域及び横浜の一部エリアのライフラインが寸断され透析施設が不能。要支援透析患者約 2,700 人。

訓練内容:地震により横浜市の一部(金沢区、中区、磯子区、南区)、横須賀市、逗子市、三浦群葉山町の上下水道が損傷を受け上記の範囲の施設は透析が施行不能となる。**外来透析**患者支援として神奈川県内及び他都県に対し透析患者の支援の依頼をし、患者搬送のシミュレーションを行う。

他県依頼対象患者は**入院透析を基本**とし、患者の選定として、①**独歩**(杖歩行可)で移動できる、②ある程度身の回りのことが自分で出来る、③**他科の処置を必要としない**、④**認知症と診断されていない**、⑤**数時間の移動に問題がない**患者、とする。他県へ搬送依頼患者数は技士会メーリングリストにて配布したファイル(あらかじめ対象施設にはファイルを共有)を入力。他県依頼患者以外は DIEMAS の支援要請欄へ入力する。DIEMAS に登録できない施設は日本透析医会災害時情報ネットワークに入力する。

受け入れ施設はクール貸しを基本として入力を行う。または、空床ベッド分として受け入れ人数を入力する。

情報入力先:DIEMAS および日本透析医会災害時情報ネットワーク

注:支援要請人数及び受け入れ可能人数は 9 月 1 日の欄に入力してください。

他都県へ患者支援要請情報の流れ

